
マイケルとパロディー

高橋さくら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マイケルとパロディー

【Nコード】

N7496E

【作者名】

高橋さくら

【あらすじ】

マイケル・ジャクソンの曲にはパロディーがあります。久々にPVを見て感じたことを綴ったエッセイです。

マイケル・ジャクソンの『スリラー』は累計セールス1億400万枚以上の

前人未到の金字塔を打ち立てたアルバムだそうだ。

80年代を代表する外タレはたくさんいるけど、ことプロモーションビデオに関しては

マイケル君以上の物にお目にかかった記憶がない。

それ程「スリラー」のプロモーションビデオは凄かった。

先日ユーチューブで久々にマイケル・ジャクソンのPVを見た。

ユーチューブのお陰で80年代のPVがいとも簡単に見れる。

昔のマイケルは本当に格好良かった。

「工事」し過ぎて今や昔の精悍さを見る影もない。

「BEAT IT」と「BAD」を立て続けに見ると「BAD」では若干「工事」が入ってる気がする。

あくまでも気がする程度だが。

ところで、マイケルの曲にパロディがあるのをご存じだろうか。

「BEAT IT」のパロディは「EAT IT」、「BAD」のパロディは「FAT」。

歌っているのはアル・ヤンコビックさんという人で、このヒトは替え歌や

コミックソングを多数リリースしているアーティストさんだそうだ。

この、アル・ヤンコビックさんのPVはマイケルのPVを忠実に再現している。

リアルに再現されたPVの中にパロディがこれでもかと盛り込ま

れている。

一番最初に見た時は度肝を抜かれた。おちよくり方もハンパじゃなく、

大笑いしてしまった。

そんなアル・ヤンコビツクさんのことをふと思い出して、ユーチューブで探してみると、

いとも簡単に「EAT IT」や「FAT」が見つかった。

ワクワクしながら「EAT IT」と「FAT」をたて続けに見る。

ところが。

何十年ぶりに見るアル・ヤンコビツクさんバージョンの「EAT

IT」や「FAT」は

マイケルのPV程気分を高揚させてくれなかった。

第一印象は「なんか、踊りがちゃちなあ」だった。

マイケルの踊りを真似て踊ってはいるものの、マイケルのPVの後だと、

拙さばかりが印象に残る。

まあ、拙さも味じゃない？って意見もあるかもしれないが…

マイケルと同じレベルを求めているのではない。

ヤンコビツクさんは明らかにダンスがヘタだった。

忠実なPV作り、全編に盛り込まれたパロディー、そしてヤンコビツクさんのへたくそな踊り…。

ネガティブ要素が一番印象に残った。

あれ、変だな。25年前には感じなかったのになんでだ？

多分ヤンコビツクさんはもともとダンスがヘタだったのだ。

一昔前はそれでもアリだった。多分日本人も踊りがヘタだったから。

日本のアーティストやダンサーがこの25年の間で成熟し、私のような「踊りに関して全くの素人」の目さえも肥えちゃったってことかなあ…。

25年たって色あせてしまったものと25年たってなお、全く色あせていないもの。

マイケルの凄さを改めて実感した私であった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7496e/>

マイケルとパロディー

2010年10月10日07時33分発行